

にいざ 歴史民だより

第5号（平成25年7月）

発行：新座市立歴史民俗資料館
新座市片山一丁目21番25号
電話 048-481-0177
FAX 048-481-0149
Eメール rekimin@city.niiza.lg.jp

★夏の風物詩として定着している「七夕」



写真：資料館ホールの

七夕かざり

もともと七夕は、旧暦の7月7日に行われていました。

旧暦は明治6年に現在の暦が採用される以前の暦で、ふだん私たちが使うことはありません。

国立天文台は旧暦の七夕を「伝統的七夕」と定め、公表しています。今年の「伝統的七夕」は8月13日。

梅雨も明け、雲ひとつない晴天が続いているはずです。

天の川もハッキリと見えることでしょう。

資料館トピックス（4月～6月）

★「白瀬^{のぶ}轟中尉とわがまち新座」を常設展示しています。

前回ご紹介した、白瀬轟中尉と新座の意外な接点……。

「新聞記事（5月4日付け読売新聞埼玉版）を見て来ました。」というお客様も県内外から来館され、我が国初の南極探検への関心の高さがうかがえます。

そこで期限を設けず、皆さんにゆっくり見ていただけるよう常設展示とすることにしました。

また、砕氷艦「新しらせ」の設計に携わった方（市内在住）からは船体外板素材「ステンレスクラッド鋼板」等の珍しい資料をご寄贈いただき、こちらもあわせて展示しています。



写真：砕氷艦「新しらせ」

寄贈資料（右）

★「市内文化財めぐり～大和田周辺を訪ねて～」を開催しました。

6月22日（土）開催された「市内文化財めぐり」

直前まで心配された空模様も一転、晴天に恵まれました。

意外なところに遺されている数々の文化財に出あうとともに、「わがまち新座」の歴史の奥深さに触れ、半日の行程もあっという間に過ぎた楽しいひとときでした。

9月21日（土）は片山周辺の文化財めぐりを開催予定です。

詳しくは「広報にいざ」9月号でご案内する予定ですので、しばらくお待ちください。



写真：大和田氷川神社にて

★早く大きくなってね！～園庭の草花に仲間が増えました～



写真：オケラの苗

「園中は原野にひとしくして百草叢をなす。江戸よりも采（採）薬御用によりて、よりより御医師来れり」・・・

（「新編武蔵風土記稿」堀之内村の項より）

江戸時代、市内に5か所あったと伝えられる「薬草園」。この薬草園の雰囲気再現するため、郷土史サークル「にいざ歴史文化財研究会」の方が、鑑賞用として薬草の苗を植えてくださいました。

これからどんな風に育っていくのかが楽しみです。

★「資料館ガイドボランティア」がスタートしました！

有志の方々による、「館内ガイドボランティア」が研修を修了し、7月6日（土）から活動を始めました。

ボランティアによるガイドは毎週土・日曜日です（時間は不定期）。ガイドご希望の方は、お気軽にお声をかけてください。



写真：研修会の様子

催しもののご案内

☆夏休みから秋にかけての資料館行事予定です。変更となる場合もございますので、実施予定の月の「広報にいざ」等を必ずご確認の上お申し込みください。

- 1. 夏休み子ども歴史講座 野火止用水の源流・東京都羽村市をバスで訪ねます。**
日時：8月21日（水）午前9時～午後3時30分 ※集合場所は市役所第3駐車場です
対象：市内の小学生4～6年生
- 2. 市内文化財めぐり～片山周辺を訪ねて～ 片山の文化財を学芸員がガイドします。**
日時：9月21日（土）午前9時30分～正午 ※歴史民俗資料館集合（予定）
- 3. 歴民の集い 甲冑（レプリカ）着用体験、歴史講座等を予定しています。**
日時：11月3日（日・祝日） 午前9時30分～午後3時

探しています！

～常設展「昭和の暮らし」展示品の充実にご協力ください！～

平成24年度から「昭和の暮らし」の常設展示を実施していますが、残念なことに次の品物が収蔵されておらず、引き続き皆さんの寄贈を募っております。

- ①湯たんぽ（陶器製） ②七輪 ③蠅帳（食卓用の蚊帳） ④自在かぎ（囲炉裏に吊るもの）

ご協力いただける方は、事前に歴史民俗資料館にご連絡ください。お待ちしております！